

一般社団法人日本アレルギー学会 平成30年度事業計画  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

事業項目	事業概要
学術大会、講演会等の開催 (定款第4条第1号)	1. 学術大会 第67回学術大会 会期: 6月22(金)～24日(日) 会場: 幕張メッセ、ホテルニューオータニ幕張(千葉) 参加者予定数: 4400名 応募演題数: 一般演題 約 620題
	2. 第5回総合アレルギー講習会 (座学と実技による総合アレルギー医研修のための講習会) 会期: 12月15日(土)～16日(日) 会場: 大阪国際会議場 (大阪) 参加者予定数: 1800名
	3. 第1回臨床アレルギー講習会 (メイン会場と各地方会場4カ所をWebでつなぎON LINE同時配信) 会期: 9月2日(日) メイン会場: TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター サテライト会場: TKP仙台カンファレンスセンターTKP名古屋カンファレンスセンター、TKP大阪難波カンファレンスセンター、TKP博多駅前シティセンター 参加者予定数: 800～1,000名
学会誌、ガイドライン、 その他の刊行物の発行 (定款第4条第2号)	和文誌「アレルギー」67巻1号～67巻10号 年間9冊発行(4・5号は合併号) 通常号2,3,5,7,8,9,11,12月各1日発行、合併号は5月15日発行 約12,500部発行予定 J-stage、メディカルオンラインにオンラインジャーナル掲載
	英文誌「Allergology International」発行67巻2号～68巻1号・年4回(4、7、10、1月、各1日)+Supplement発行。冊子体は希望者の会員のみ配付。エルゼビアのScience Direct.及びJ-stageにオンラインジャーナル掲載
	「スギ花粉症におけるアレルギー免疫療法の手引き」改訂版の発行 「アレルギー学用語集」改訂版の発行
専門医、指導医、教育施設等の 認定 (定款第4条第3号)	1. 専門医等の認定 専門医、指導医、認定教育研修施設の資格認定に係わる諸審査を実施 専門医資格認定試験を実施し(平成31年1月最終日曜日)、合格者を「アレルギー専門医」として認定 指導医、認定教育研修施設の認定
	2. 専門医等の更新認定 資格更新を希望する専門医、指導医、認定教育研修施設の資格更新に係わる諸審査を行い、合格者を更新認定
研修及び教育の実施 (定款第4条第4号)	専門医の教育 1)第53回セミナー 日時: 平成30年 6月24日 13:30～16:45(予定) 場所: 幕張メッセ(千葉) 定員: 350名
	2)第54回セミナー 日時: 平成30年10月28日 9:30～16:00(予定) 会場: JPタワー (東京) 定員: 500名
	3)専門医制度集中研修(第12回相模原臨床アレルギーセミナー:共催) 日時: 平成30年8月3～5日 会場: パシフィコ横浜アネックスホール 定員: 250名
研究の奨励及び研究業績の表彰 (定款第4条第5号)	日本アレルギー学会学術大会賞(第15回)の実施
	日本アレルギー学会海外研究留学助成金(第5回)の実施
	日本アレルギー学会臨床研究支援プログラム(第3回)の実施
	日本アレルギー協会真鍋奨学助成、日本医学会医学賞、研究助成、持田記念学術賞、上原賞 他の広報、候補者の推薦検討
関連学術団体との連絡および協力 (定款第4条第6号)	日本アレルギー協会との共催、後援活動 アレルギー週間の後援及び平成31年2月開催予定の中央講演会を共催
	日本病院薬剤師会、日本薬学会、日本看護協会等との連携・協力
	日本専門医機構活動参加 社員総会、内科系関連13学会協議委員会等へ代表者派遣
	内科系学会社会保険連合活動参加 例会、アレルギー関連委員会の運営、呼吸器・検査関連各委員会等への委員派遣
	日本医学会・日本医学会連合の活動参加・協力
	日本学術会議活動協力 日本医師会活動参加・協力(医師支援事業に参加:支援講習会等を企画・共催の予定) その他関連する団体との連携・協力

一般社団法人日本アレルギー学会 平成30年度事業計画  
(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

<p>国際的な研究協力と交流の推進  (定款第4条第7号)</p>	<p>1. 第67回学術大会でのEnglish Sessionにおいて韓国、中国、香港、台湾の若手研究者招聘。 日時:平成30年6月22～24日 会場:幕張メッセ(千葉)</p> <p>2. WAO(World Allergy Organization), APAAACI(Asia Pacific Association Allergy, Asthma and Clinical Immunology), EAACI(European Academy of Allergy and Clinical Immunology)の大会への講演者派遣。</p> <p>3. East Asia Allergy Symposium(EAAS)は韓国にて開催予定。日本から講演者派遣。</p> <p>4. GINA世界喘息デー 医師講演会(GINA日本組織委員会)への協力</p>
<p>普及啓発活動 (定款第4条第8号)</p>	<p>1. 第67回学術大会において市民公開講座開催 日時:平成30年7月1日(日) 会場:ペリエ千葉 7階ペリエホール(千葉県) インターネットライブ配信の実施</p> <p>2. 学会Web:一般向け情報サイトでの情報提供 他</p>
<p>その他 (定款第4条第9号)</p>	<p>アレルギー相談センター事業(アレルギーポータルサイトの構築、相談員研修会、アレルギー・リウマチ電話相談、研修資料の作成)</p>
<p>地方会の創設</p>	<p>全国8ブロック (北海道地方会、東北地方会、関東地方会、北陸地方会、東海地方会、関西地方会、中国・四国地方会、九州・沖縄地方会)</p>
<p>理事会、総会、委員会等</p>	<p><b>理事会</b> 4回(6、9、12、3月 予定)</p> <p><b>社員総会</b> 1回(6月 予定)</p> <p><b>総務委員会</b>:平成29年度事業報告、平成31年度事業計画案策定</p> <p><b>財務委員会</b>:平成29年度決算、平成31年度予算案 長期展望に立った財務計画、公益法人会計基準に立脚した予算立案、決算作成</p> <p><b>長期計画委員会</b>:長期展望に立った学会の課題について検討(学会の将来像、学術大会、専門医制度 他)</p> <p><b>広報委員会</b>:学会の広報活動全般を取り扱い、Webサイト作成・運営ならびに一般市民への啓発活動を実施。日本アレルギー協会との連携も図る。</p> <p><b>定款・細則検討委員会</b>:規程に関する諮問検討</p> <p><b>推薦委員会</b>:名誉会員、功労会員の推薦、学会推薦の外部学術賞、助成金等の広報、候補者の検討等</p> <p><b>倫理委員会</b>:倫理綱領の遵守指導。社会、学会内で生じる倫理的問題、課題への対応</p> <p><b>学術大会委員会</b>:学術大会プログラムの企画検討、及び関連する諸問題の検討</p> <p><b>総合アレルギー講習会実行委員会</b>:総合アレルギー講習会の企画検討、及び関連する課題の検討</p> <p><b>アレルギー疾患ガイドライン委員会</b>:「喘息予防・管理ガイドライン2018」及び「アトピー性皮膚炎診療ガイドライン2018」発行</p> <p><b>研究推進委員会</b>:臨床研究支援プログラム(第3回)の実施の他、本学会が取り組むべき研究課題の検討</p> <p><b>アレルギー免疫療法委員会</b>:舌下免疫療法の教育・普及、スギ花粉症におけるアレルギー免疫療法の手引き改訂版の発行</p> <p><b>学術賞選考委員会</b>:第15回学術大会賞の選考、第5回海外研究留学助成金の選考</p> <p><b>アレルギー編集委員会</b>:和文誌「アレルギー」の発行 投稿原稿審査、編集委員会企画の立案及び実施、J-STAGE、メディカルオンラインでオンラインジャーナル公開</p> <p><b>AI編集委員会</b>:英文誌「Allergology International」年4回+Supplement発行。冊子:1100部配布。オンラインジャーナルサイト随時更新。インパクトファクターの数値アップ、認知度アップの為の宣伝活動</p> <p><b>用語委員会</b>:アレルギー学用語集改訂版の発行、日本医学会用語委員会等に関わる協力</p> <p><b>専門医制度委員会</b>:アレルギー専門医の認定及び更新認定 専門医養成のための教育施設・指導医認定及び更新認定 専門医教育のためのセミナー立案、実施 今後のアレルギー研修プログラム、研修カリキュラム検討</p> <p><b>国際交流委員会</b>:World Allergy Organization(WAO), Asia Pacific Association Allergy, Asthma and Clinical Immunology(APAAACI), EAACI(European Academy of Allergy and Clinical Immunology)との連携、協力事業</p> <p><b>医療問題検討委員会</b>:日本医療安全調査機構 医療事故調査・支援への協力、その他 医療問題、医療保険問題等関連事項の問題検討</p> <p><b>診療報酬検討委員会</b>:平成32年診療報酬改定に向け、要望の策定。内保連アレルギー関連委員会への委員派遣</p> <p><b>アレルギー疾患医療安全委員会</b>:会員の医療事故等医療安全に関し要請を受け、第三者機関として迅速かつ円満な解決を図るための支援活動を行う</p> <p><b>男女共同参画委員会</b>:男女が社会の対等な構成員として、共同参画社会の実現という、男女共同参画社会基本法の一助として、男女共同参画に係る講演会の実施、メンター&amp;メンティ相談会及び会員の活動に対し男女共同参画奨励賞(第3回)を実施する。</p> <p><b>選挙管理委員会</b>:平成30年度代議員・役員選挙の実施・管理</p> <p><b>利益相反委員会</b>:利益相反指針の違反防止、啓発活動、利益相反調査、管理、審査</p> <p><b>Anaphylaxis 対策特別委員会</b>:「アナフィラキシー治療症例の多施設集積調査」・「アナフィラキシー啓発医育成並びに啓発活動」の取り組み。アナフィラキシーガイドライン専用Webサイトによる情報提供。アナフィラキシーガイドライン改訂版発行の検討。</p> <p><b>新専門医制度対策特別委員会</b>:新専門医制度における内科のサブスペシとしての対応とその他の基本領域との調整。</p> <p><b>アレルギー疾患対策基本法特別委員会</b>:厚労省助成事業である「アレルギー相談センター」事業の継続と追加事業についての検討・執行。</p> <p><b>災害時の対応、支援活動に関するWG</b>:日本アレルギー協会や日本小児アレルギー学会と連携し、今後発生することが予測される大規模災害への対応、支援活動についての検討を継続。</p>